

氏 名	
タキグチ リョウスケ 瀧口 亮介	
学 歴	
昭和 53 年 3 月	国立音楽大学音楽学部作曲学科卒業 学士(芸術) (国立音楽大学)
職 歴	
昭和 53 年 4 月	東京都豊島区立駒込中学校教諭 (～昭和 60 年 3 月)
昭和 60 年 4 月	東京都板橋区立板橋第一中学校教諭 (～平成 7 年 3 月)
平成 2 年 4 月	平成 2 年度東京都教員研究生・東京都立教育研究所音楽研究室派遣 (～平成 3 年 3 月)
平成 7 年 4 月	東京都目黒区立第一中学校教諭 (～平成 13 年 3 月)
平成 13 年 4 月	東京都西東京市立保谷中学校教諭 (～平成 16 年 3 月)
平成 16 年 4 月	東京都品川区立大崎中学校教諭 (～平成 17 年 3 月)
平成 17 年 4 月	自営業(作・編曲) 現在に至る
平成 18 年 4 月	国立音楽大学非常勤講師 (音楽教育演習・合奏 I 及び II) (音楽科教育法 I 及び II) (専門ゼミ II) 現在に至る
平成 19 年 4 月	洗足学園音楽大学音楽学部非常勤講師 (音楽科教育法) (～平成 22 年 3 月)
平成 22 年 4 月	洗足学園音楽大学音楽学部准教授 就任
平成 25 年 4 月	洗足学園音楽大学音楽学部教授 就任
平成 30 年 3 月	洗足学園音楽大学音楽学部教授 退任 洗足学園音楽大学名誉教授として現在に至る
令和 3 年 4 月	東京音楽大学教職課程教授 就任 現在に至る
学会及び社会における活動等	
現在所属している学会	日本学校音楽教育実践学会 日本音楽教育学会
平成 2 年度	東京都教員研究生・東京都立教育研究所音楽研究室派遣。

	研究テーマ「表現力を高める効果的な指導法の工夫～教材開発を通して」
平成 2～3 年度	電子楽器を考える会。 カシオ計算機(株)の要請による教育用電子楽器の開発。
平成 4～5 年度	音楽学習ソフト『ミュージアム・エチュード』の開発。 ビクター・エンターテインメント(株)の要請で、DTM(デスクトップミュージック)を音楽科教育に導入する初の試みのソフト開発。学校音楽科教育におけるパソコン導入の礎に資する。
平成 5 年度	東京都教育課程研究委員。 現在の観点別評価評定の礎に資する研究。
平成 6～14 年度	音楽指導システム研究会。 学校音楽科教員に加えて音楽出版、音楽療法、専門指導者、他の領域(デザイナー、プログラマー等)の業界関係者で構成される研究会。校種間、企業と学校の連携、社会事情と音楽産業のかかわり方等々の多種多様なテーマを研究する。その中で次の研究発表を行った。 『学校音楽における電子楽器の行方と問題点』平成 6 『教科書のロマンと主張～激動の教育界における教科書の役割』平成 7 『もう一度見直そう教科書・テキスト・教材料理法～私の隠し味』平成 8 『情景を音でデザインしよう～中学校における"つくって表現"の可能性』平成 10 『新教育課程を考える～私案・音楽科ガイドライン(小中高版)』平成 10 『子どもの作品あれこれ…創作コンクールに見る子どもの実態』平成 11 『横断的、総合的な学習の時間を考える』平成 11 『教育上の"ゆとり"論と"ユーモア"論』平成 13 『新学習指導要領全面実施の問題点～教材・指導法・評価の在り方をめぐって』平成 14
平成 8 年度	文部省(現・文部科学省)教育課程実施結果分析者会議。 研究指定校の研究実践結果を分析し、平成 14 年度完全実施の学習指導要領の作成のための資料を作成。

平成 9 年 2 月	目黒区教育会音楽科小中合同研究発表。『全員合唱の指導法』
平成 11 年度	東京の教育 21 開発委員。 平成 14 年度完全実施の新教育課程・音楽科の在り方をめぐって、生徒自らの創意工夫で展開できる学習のスタイル及び具体的な学習内容、方法の模索として授業研究を担当した。題材『ア・カペラ合唱を自らコーディネートしよう』
平成 11 年 8 月	日本学校音楽教育学会(現・日本学校音楽教育実践学会)。 『音楽の構造的側面、様式的側面の理解をめざす指導法～小アンサンブル活動を通して』全国大会発表(洗足学園音楽大学)。なお平成 12 年発行の同研究紀要に概略を発表した。
平成 11 年 11 月	全日本音楽教育研究会全国大会。 東京都中学校音楽教育研究会教育課程研究部長として研究テーマ『"総合的な学習の時間"と音楽科とのかかわり方』を研究発表した。
平成 15 年 6 月 平成 15 年 8 月	東京都中学校音楽教育研究会副会長・研究総括部長として研修会をプロデュース。 『教科書教材を活用した表現指導の工夫～題材に迫る教材探し』 東京都教職員研修センター/講演。 『教育課程・音楽科の基礎基本の一考察』
平成 15 年～現在	都内幼稚園、小学校、中学校の校歌及び賛歌を制作した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 台東区立御徒町台東中学校校歌 (平成 15 年) ・ 台東区立石浜橋場子ども園園歌 (平成 16 年) ・ 江東区立南央小学校校歌 (平成 19 年) ・ 江東区立豊洲北小学校校歌 (平成 19 年) ・ 荒川区立尾久小学校創立 100 周年記念音頭 (平成 19 年) ・ 練馬区立谷原小学校創立 50 周年記念賛歌 (平成 20 年) ・ 三鷹市おおさわ学園園歌 (平成 21 年) ・ 荒川区立南千住第二中学校創立 20 周年記念賛歌 (平成 21 年) ・ 江東区立有明小中学校校歌 (平成 23 年) ・ 墨田区立桜堤中学校校歌 (平成 25 年) ・ 義務教育学校 江東区立有明西学園校歌 (平成 30 年)

平成 17 年～現在（主に 3 月）	中学校及び都立高等学校の合唱コンクールにおける特別審査員として音楽科学習の成果を総括的に指導・助言を行っている。（毎年定例に参観する学校：練馬区、荒川区、北区、足立区、豊島区、杉並区立の中学校。岩手県奥州市立の中学校。都立足立東高校。）
平成 20 年 7 月	台東区教育委員会主催：キャリア教育の視点に立った指導の充実：講演名「自らを知り、目標に向かって努力する生徒の育成」の講師。御徒町台東中学校にて、当校校歌の作曲者として全校合唱の指導を含めて講演した。
平成 20 年 8 月	茨城県坂東市教育委員会主催：音楽教育研究部音楽実技研修会講師。講演名：授業に役立つ指導法。
平成 21 年 8 月	教員免許状更新講習：講座名「合奏編曲」の講師。国立音楽大学にて。
平成 21 年 8 月	栃木県教育委員会主催：芳賀地区音楽部会夏期研修会講師。講演名：合唱指揮法。
平成 21 年 12 月	東三鷹学園・小中合同研修会：授業研究の講師。新学習指導要領の内容と指導法についての小中合同研究に向ける指導・助言。
平成 22 年 8 月	青森県教育委員会主催：中・高等学校音楽科実技講座の講師。講演名：作・編曲法と教材開発。
平成 22 年 10 月	杉並区教育委員会主催：幼小中学校音楽科教育研修会の講師。合唱による公開授業に対する講評と合唱教育の求めるべき指導内容についての講義。
平成 23 年 7 月	八王子市教育委員会主催：八王子市立小・中学校パワーアップ研修会の講師。研修名：授業に生かせる指導法—創作へのアプローチを求める教材の開発。
平成 23 年 8 月	東京都教職員研修センター主催：平成 23 年度専門性向上研修の講師。研修名：新学習指導要領に基づく音楽科の授業づくり [創作]。会場：国立音楽大学。
平成 23 年 8 月	町田市教育センター主催：授業力・教育課題研修会の講師。研修名：新学習指導要領実践講座、小中学校音楽科創作学習の指導法-教材開発を通して。会場：玉川大学。
平成 24 年 6 月	石川県羽咋郡教育委員会主催：創作授業及び教員対象の研修会の講師。講演名：創作についてのワークショップ—生徒をモデルにした創作授業及び教員対象の研修会。会場：宝達志水町立押水中学校。
平成 24 年 8 月	千葉市教育センター主催：子どもの意欲を高める創作指導（中学校音楽科講座・市教研連携）の講師。講座の趣旨：新学習指導要領全面実施に伴い、創作指導の在り方を学とともに、教師としての姿勢について学び、日頃の指導に役立てる。会場：千葉市教育センター。
平成 24 年 8 月	東京都中学校音楽教育研究会主催：夏季実技研究会「教科書を使った誰にでもできる創作授業」の講師。講演内容：教科書内の創作に係る部分の活用法を教科書執筆者の立場で解説するとともに、演習を行わせ、指導助言する。会場：江戸川区立瑞江第二中学校。
平成 24 年 8 月	大田区中学校音楽教育研究会主催：合唱指導法研修会の講師。講演内容：効果的な合唱指導を目標とする、指揮法に特化した指導法の模索。会場：大田区立安方中学校。

平成 24 年 9 月	小平市教育研究会主催：歌唱表現学習に係る研究授業の指導助言。会場：小平市立小平第三中学校。
平成 24 年 12 月	明星大学主催：教育・保育セミナー／音楽教育ワークショップ／講義・演習「音楽の授業における創作の活動～即興的な表現を中心に」。会場：明星大学。
平成 27 年 3 月	(株) ロージイミュージック主催：第 3 回魅力的な音楽の研修会「やろう！実は簡単にできる、楽しい“即興演奏”」 会場：名古屋市南生涯学習センター
平成 27 年 8 月	平成 27 年度栃木県中学校教育研究会音楽部会「夏季研修会」の講師。講演内容：音楽科授業における創作指導。会場：宇都宮市立城山中学校。
平成 27 年 8 月	平成 27 年度福井県中学校教育研究会音楽部会研修会の講師。講演内容：音楽科授業における小中 9 年間の学びの連携。会場：勝山市福祉健康センター「すこやか」多目的室。
平成 27 年 11 月	平成 27 年度信濃教育会全県教育大会＜体験工房＞に係る講演 講演テーマ：表現教材開発にかかるとの考察～音楽素材の教材化。会場：飯田市立高陵中学校。
平成 27 年 11 月	第 57 回北海道音楽教育研究大会空知岩見沢大会＜参加型ワークショップ＞講演及び講師。講演テーマ：創作学習における“即興的な表現活動による試行”の重要性。会場：まなみーる岩見沢市民会館・文化センター。
平成 28 年 8 月	埼玉県上尾市教育研究会音楽部会・夏季研修会の講師。講演内容：音楽づくり・創作の実践指導～小中学校における音楽づくり・創作の連携を踏まえて。会場：上尾市立鴨川小学校。
平成 28 年 8 月	栃木県上都賀地区教育研究会音楽部会研修会の講師。研修テーマ：これからの音楽科教育の方向性。講演内容：テーマを受け、小中の音楽科授業におけるアクティブなグループ活動をワークショップ形式で啓発。
平成 28 年 11 月	平成 28 年度第 52 回宮城県音楽教育研究大会大崎大会に係る指導助言。研究テーマ「豊かな表現を目指して 伝え合おう音楽の喜びを」 テーマを受け、小、中学校各 2、計 4 つの研究授業を全体会において指導助言を施し、研究全体を講評した。